

ことばの
意味を
学ぼう！

青年訓 ①

てんけい ちおん
天恵地恩に感謝を捧げ、
ほうおんほうし
報恩奉仕が人の道

●青年訓
天恵地恩に感謝を捧げ 報恩奉仕が人の道
道に遵いざ奮い起て 平和の建設我等の使
命 逆巻く怒濤猛くとも 天意は固く揺るぎ
なし 泰然自若試験に耐えよ 事に臨んで不
動なれ 真理つかめば心は躍る 大地踏みし
め天職努力 徳を積みつつ進めよ和せよ 自
然の恵は必ず降る 暗い世道に悲観をするな
明るい朝が待っている 一歩踏み出し大空望
め 光明希望が展げくる 怒るな責めるな苦
しむな 善きも悪しきもみな鑑 憂い打ち捨
ていざ突き進め 信念一つで万事を開く

あけましておめでとござい
ます。今年から、「青年訓」
を九回、「女子青年の誓い」を
三回に分けて学びます。一緒
に勉強していきましよう。

※天恵地恩▶天地の恩恵のこと。天地とは大自然のことです。金剛さまは神を大自然の中に見られており、大自然そのものが神と表現もされています。つまり天地の恩恵すなわち大自然のお恵みとは、神のお恵みのことです。



青年部行事で毎回、唱えるので、

「青年訓」「女子青年の誓い」をいつのまにか覚えてしまったという人も多いと思います。しかし、意味を知らなかったり間違った解釈をしたり、ただ唱えているだけになっていては意味がありません。「青年訓」「女子青年の誓い」には、解脱青年として心を磨き生活していくための大事なエキスがつまっています。言葉一つひとつの意味をしっかりと理解して唱えていく中で、解脱青年としての信念をつくっていけるよう共に学んでいきましよう。

第一回目の今回は、「青年訓」の最初にふさわしく、誰にとっても人生の大事な土台となる内容です。

太陽の熱や光、風や雨などの恵みを平等に受けて、大地では数多くの

生命がお互いに支え合っています。

その大きな働き（＝大自然）に包まれて、私たちは限りないお恵みを受けて生かされています。

その有難さに気づき、感謝で受け取る心が「恩」なのです。恩は、私たちが真の幸福へ導くための根本となる大切な心です。

そして、恩に見合った自分となるように努力していく生き方が「報恩」であり、その具体的な行動として世のため人のために無条件で働かせて頂く行ないが「奉仕」です。それを、自ら積極的に突き進むことが人として大切な道なのです。

まず、自分に一番近い存在である、家族や友人に喜ばれる行動をしましよう。それが、「報恩奉仕」の第一歩となるのです。